

第3学年 英会話科学習指導案

平成29年11月 9日(木)

1 単元名 注文/What size would you like?

2 単元について

(1) 児童の実態

本学年の児童は、明るく元気がよく、どんな学習に対しても意欲的に取り組んでいる。英語の活動においても、臆することなく毎回のめあてを意識して取り組んでいる。特に導入の体を使って歌う活動は大好きである。実際に英語で会話しながら活動することにおいても、様々な友達とコミュニケーションを図ろうとする姿が多く見られる。今後は、さらに授業に対して、自分が何ができて何ができなかったのか、めあてを達成できたのか、などの振り返る力を身につけさせていきたい。

<図1省略>

Eータイムを行う○組の児童は、9割近くが英語の時間を楽しみにしており、元気いっぱい挨拶からいつもスタートしている。最近では決まった挨拶を繰り返すのではなく、本当の今の自分の気持ちや考えを伝えることにも慣れてきた。例えば *How are you today?* に対する返答である。自分の今の本当の気持ちを理由もつけて言いたい、または友達に聞いてみたいという意識が育ってきた。また英語を書けるようになりたいという意欲も学年全体でも大きいことが分かる。そのため、来年以降の教科としての外国語教育につなげるために、まずはアルファベットの大文字の名前を一致させるため、歌の時間はアルファベットに関する内容の歌を取り上げる。DVDによる発音練習においても、口の開け方を意識して熱心に取り組んでいる。聞く姿勢も育ってきており、担任やDVDのALTが言っていることを想像しながら聞いて考えられる児童も増えてきた。今後も、「自分の本当の気持ちを英語で表現したい」また「何とか英語で言っていることを聞き取りたい」という2点を大きく育て、今後の英語学習につなげていきたい。

EータイムLを行う○組では、学年全体に比べると英語への関心がやや低いものの、「はい」「どちらかといえばはい」を含めると、9割の児童が英語の学習を楽しみにしている。児童は、ALTとコミュニケーションを図ることやゲーム等の活動に取り組むことに大変意欲的であり、友達の前で発表することも楽しみにしている。自分の思いや考えを伝えることを進んで行う児童が多い一方、友達の発表を聞くことが苦手な児童がいる。円滑なコミュニケーションを図る上では、「話すこと」と同様、「聞くこと」も大切な要素であり、「聞くこと」の大切さを実感できる指導をしていきたい。本単元では、店員役の児童がお客役の児童の注文を「聞き」、必要な物を渡す活動をする。「聞くこと」の必要感が高まり、集中して取り組めるものと思われる。この活動を通し、「聞くこと」やそれに対する繰り返しや相づちを打つことの楽しさを味わわせていきたい。

(2) 本単元の意図

本単元は、ほしい物を注文したり受け答えしたりすることを通してコミュニケーションを図る活動である。児童はこれまで、1・2年生2月「注文」で、そのときに使用する表現を学習してきた。そのため児童は、比較的抵抗なく本単元の活動に取り組めると考える。活動を充実させるために、以下に重点を置く。

まず、ストーリータイムでの絵本の活用である。○○ goes to～. や Can I ～? をくり返し取り入れた文章を読み聞かせる。くり返し同じ表現に触れることにより、スムーズなアウトプットにつながるものとする。また、本単元のスキットでは、Can I の後に続く動詞は、have のみであるが、絵本では、take や play, drink などの動詞が用いられる。このことにより、児童の表現の幅が広がることにつながる。

次に、児童が目的意識をもって活動できる場面の設定である。本単元では、春日部市を紹介する絵本作りをする。本校の3年生は、総合的な学習の時間に郷土・春日部について調べ学習をする。EータイムLと総合的な学習の時間とのつながりをもたせ、まとめの段階では、EータイムLで活用できるよう絵本の形にしてまとめさせる。このため、本単元では、活動の内容に合うよう、基本スキットではなく、発展スキットを用いる。EータイムLでは、本文ページの内容に合った「春日部郷土カルタ」の絵札を発展スキットを使って注文し、絵本を仕上げる。ゲームを通して、自分が選びたいものを選択することで、自分の想いをアウトプットすることの楽しさや喜びを感じ、意欲的にコミュニケーションを図れるものとする。

そして、「話す(やりとり)」における活動の充実である。スモールトークを本校の最終目標とする中で、本単元ではうなずきや相づち、+αの会話を取り入れる。こうした取り組みをする中で、スモールトークにつながる語彙を増やしていきたい。

また、高学年の「書く」につながる活動の工夫である。児童は、まず、国語科「ローマ字」の学習において、自分の名前・絵本に登場するキャラクターの名前・土地の名前の書き方を知り、書く活動をする。そして、EータイムLでは、絵本に、○○ goes to ～. を記入する活動を取り入れる。児童は、絵本を完成させるために、意欲的に書く

ものと思われる。書き方の見本を用意しておき、どの児童もできる限り安易に書けるように場を設定し、「書く」喜びを実感させ、4年生からのE-タイムWにつなげたい。

さらに、「E-タイムとE-タイムLとのつながり」「E-タイムL 4時間分のつながり」である。E-タイムLで児童が進んでアウトプットできるよう、E-タイムでは、インプット中心の活動をする。そのために、リズムよく何度も飽きずにくり返し練習できるようにする。E-タイムLでは、単元の流れを意識して授業を行う。1/4では、児童が春日部市を紹介する絵本作りをする見通しがもてるよう、モデルとなる絵本の読み聞かせをする。また、2/4・3/4の活動で必要となるスキットをクラス全体で確認しながらゲームを行う。2/4では、表紙・裏表紙を作る。3/4では、本文ページの作成をする。4/4では、完成した絵本をクラスの友達にプレゼンテーションする。

こうしたことを踏まえ本単元の活動に取り組むことで、児童が積極的にコミュニケーションを図れるものと考え

3 研究主題との関連

研究主題 『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』

～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～

【仮説】

◎**目的意識を持たせることで、英語でのコミュニケーションへの関心が高まる**であろう。

【コミュニケーションに関する関心・意欲・態度】



【手だて】

E : E-タイムとE-タイムLの学習のめあてを児童に示す。
E L : 児童がふり返り（自己評価）しやすい具体的な目標を提示したり1時間の流れを明示したりすることで活動の見通しを持たせる。

◎**多様な聞く活動を取り入れることで、英語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つ**であろう。

【聞く】



E : 既習事項を含むスキットを計画的にDVDで視聴し、何を言っているのか常に考えさせながら聞かせる。
E L : ALTの発音をくり返し聞かせたり、会話を積極的に取り入れたりする。ストーリータイムで絵本の読み聞かせをし、くり返し同じ表現に触れる場を設定する。

◎**くり返し英語を話す活動を取り入れることで、英語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つ**であろう。

【話す】



E : 一対一でくり返し会話練習する場を設定し、たくさん話す機会を設ける。
E L : 自分が必要なカードをくり返し注文する場面を設定する。

◎**文字に触れる場面を多く設定すれば、児童が自然に読んだり、書いたりできる力が育つ**であろう。

【読む・書く】



E : ソングでアルファベットに関する内容のものを取り入れて、アルファベットとその名称を一致させる。
E L : 補充語句は、絵とともに文字も入れ、自然に文字に触れられる場面を設定する。
絵本に、○○ goes to ～.を記入する活動を取り入れる。

4 単元計画

(1) スキットの系統性

1年生「注文」	2年生「注文」
Clerk: Hi. A: Hi, I would like a hamburger and orange juice please. Clerk: What size orange juice? A: Medium please. Clerk: OK.	Clerk: Hi. A: Hi, I would like a sandwich and a cake please. Clerk: For here or to go? A: To go please. Clerk: Sure, just a moment please.



本単元（基本）のスキット 3年10月「注文」	発展スキット	補充語句・重点補充表現
<p>Clerk: Hi. A: Hi, can I have a cheese burger meal? Clerk: Sure, what drink would you like? A: Coke please. Clerk: OK, what size would you like? A: Medium please.</p>	<p>発展スキット① Clerk: Hi. A: Hi, can I have a blue card? Clerk: Blue? A: Yes. Clerk: Sure, what size would you like? A: Medium, please. Clerk: OK, just a moment please. (商品を探す) Clerk: Here you are. A: Thank you. Clerk: Have a nice day. A: You, too.</p> <p>発展スキット② Clerk: Hi. A: Hi, can I have a “ki” card? Clerk: “Ki”? A: Yes. Clerk: Sure, what size would you like? A: Small, please. Clerk: OK, just a moment please. (商品を探すが、品切れ。) Clerk: Oh, I’m sorry. It’s sold out. A: Oh, I see. Thank you. Clerk: Have a nice day. A: You, too.</p>	<p>色の言い方(orange, light blue, red, pink, yellow, light green, black, purple) サイズの言い方(small, medium, large)</p> <p>①Can I have～? ②What size would you like? ③Just a moment, please. Wait, please. ④I’m sorry. It’s sold out. ⑤I see. ⑥Have a nice day.—You, too.</p>



4年生「注文」
<p>A: I’d like to have spaghetti and salad. Clerk: Would you like some dessert? A: Yes, apple pie please. Clerk: OK, just a moment please.</p>



5年生「注文」
<p>A: I would like an omelet and ice cream please. Clerk: What flavor ice cream? A: Vanilla please. Clerk: Sure, just a moment please.</p>



6年生「注文」

A:A table for two.
 Clerk:This way please. Here is the menu.
 B:Thank you.
 I would like soup and steak.
 A:I would like fried chicken.
 Clerk:Sure.



中学1年生「TOTAL ENGLISH Talking Time」

Clerk: Next, please.
 A: Can I have a hamburger, French fries and an iced tea?
 Clerk: Large or small French fries?
 A: Large, please.
 Clerk: For here or to go?
 A: For here.

(2) 目標及び評価規準

観点	単元の目標	単元の評価規準	週	1	2	3	4
関心 意欲 態度	簡単な注文の言い方に慣れ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとする。	簡単な注文の言い方に慣れ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	評価 機会				○
話す (発表)	友達に自分の作った絵本を見せながら、紹介に必要な表現を使って話すことができる。	友達に自分の作った絵本を見せながら、紹介に必要な表現を使って話すことができる。					○
話す (やりとり)	リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝えを合することができる。	リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝え合することができる。			○	○	
聞く	簡単な注文の言い方に慣れ、活動に用いている英語の内容を聞き取ることができる。	簡単な注文の言い方に慣れ、活動に用いている英語の内容を聞き取ることができる。		○			
気づき	さまざまなあいづち表現があることに気づく。	さまざまなあいづち表現があることに気づいている。		○			
読む							
書く							

(3) 指導と評価の計画

	1週	2週	3週(本時)	4週
週 の 目 標	簡単な注文の言い方に慣れ、活動に用いている英語の内容を聞き取ることができる。 【聞く】	リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝えを合することができる。 【話す・やりとり】	リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝えを合することができる。 【話す・やりとり】	簡単な注文の言い方に慣れ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 【関・意・態】
	さまざまなあいづち表現があることに気づく。【気づき】			友達に自分の作った絵本を見せながら、紹介に必要な表現を使って話すことができる。 【話す・発表】

	【ふれよう】	【慣れよう】	【慣れ親しもう】	【楽しもう】
	あいさつ・song・DVD視聴			
E タ イ ム	<p>○発展スキット①と②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充語句の練習 ・重点補充表現①と② <p>○whisper ゲーム keyword ゲーム など</p>	<p>○発展スキット①と②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点補充表現③と⑤ <p>○ペアになったの会話練習ゲーム1 (ほしいものが必ずあるパターン)</p>	<p>○発展スキット①と②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点補充表現④と⑥ ・+αの会話例 <p>○ペアになったの会話練習ゲーム2 (ほしいものがない場合もあるパターン)</p>	<p>○自分の絵本発表練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作った絵本の読み聞かせ (紹介・発表) を行う練習をする。 ・△△ goes to ~. の言い方の練習をする。
	ふりかえり・あいさつ			
	1. あいさつ 2. song 3. 本時のめあてと学習の流れの確認			
E タ イ ム L	<p>4 Story Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公がパリの名所を観光する絵本を読み聞かせる。自分たちは、春日部を紹介する絵本を作ることを知る。 <p>5 Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展スキット①と② ・補充語句の練習 ・重点補充表現①と② ・様々なあいづち表現 <p>【気】(観察、パスポート)</p> <p>6 『ペア作りゲーム』を行う。カルタ屋さんとお客さんに分かれて、読み札にあった絵札を注文するゲームを行う。 【聞】(観察)</p>	<p>4 Story Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時同様だが、とくにあいづちを打ったり、重要語句を繰り返したりして、児童の理解が深められるようにする。 <p>5 Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展スキット①と② ・重点補充表現③と⑤ ・様々なあいづち表現 <p>6 『読み札集めゲーム』を行う。スキットを使って会話し、カルタ屋さんとお客さんに分かれて、読み札とその台紙を注文するゲームを行う。その後表紙に、○○ goes to~を記入する。 【話・や】(観察・パスポート)</p>	<p>4 Story Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT ともうまく協力し、あいづちや重要語句をくり返しながら、テンポ良く読んでいく。 <p>5 Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展スキット①と② ・重点補充表現④と⑥ ・+αの会話例 <p>6 『絵札集めゲーム』を行う。スキットで会話しながら、カルタ屋さんとお客さんに分かれて、絵札とその台紙を注文するゲームを行う。その後、本文ページに○○ goes to~を記入する。 【話・や】(観察・パスポート)</p>	<p>4 Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のプレゼンテーションで使用するフレーズ(以下に示す。)の練習をする。 <p>5 ALT と会話をしてから、自分のオリジナル絵本プレゼンテーションを行う。</p> <p>Hello. This is my picture book. ○○ goes to~. This is ○○. Thank you. 【関】(観察) 【話・発】(観察・パスポート)</p>
	ふりかえり・あいさつ			

5 本時の展開 (第3週)

(1) 目標 リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝えを合うことができる。【話す・やりとり】

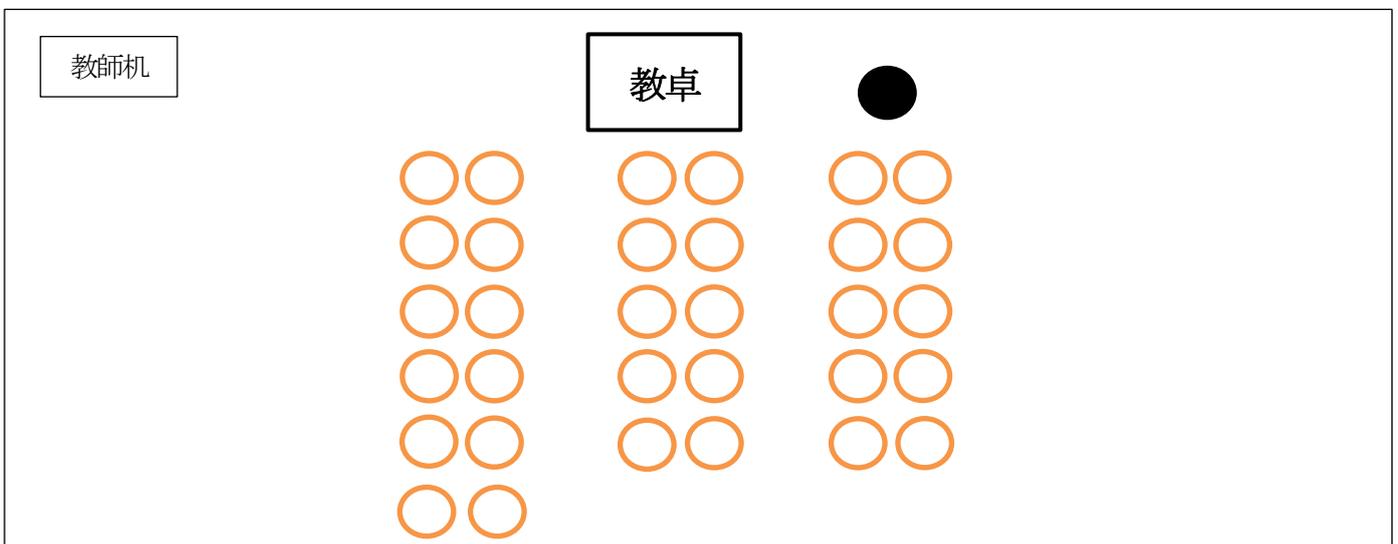
(2) 展開

・E-タイム 第3学年○組

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (・指導【評価】)
1'	1 あいさつをする。	・あいさつ	・あいさつをし、そのときにいくつかの個別の質問をして明るく楽しい雰囲気をつくる。
1'	2 “The Apple Song”を歌う。	・アルファベットを意識した歌	・アルファベットをジェスチャーで示しつつ楽しく歌えるようにする。
1'	3 DVDを視聴する。	・発展スキット②	・clear voice や正しい口の形、そしてジェスチャーを意識して行っている児童を中心にほめる。
1'	4 単語や表現の練習をする。	・重点補充表現 (特に③と④) ・+αの表現	・どういうとき使用すればいいのか考えさせながら、テンポよく行う。
4'	5 注文を行う際の会話練習を行う。	・発展スキット① ・発展スキット② ・重点補充表現 ・+αの表現	・上手な友達の様子を見させ、本時のめあてを分かりやすく示し、意識させる。 ・HRTは、歩きまわりながら会話ができているか確認し、評価する。 【話・や】リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝えを合うことができている。(観察)
1'	6 本時の学習を振り返る。	・本時の活動に沿った振り返り	・Today's あいづち No.1 を発表し、今日の学習を振り返らせ、元気よくあいさつをして終わりにする。

・場の設定

○は児童、HRT●は歩きながら会話ができているかを確認し評価する。



*会話が終わったら、片側の児童がずれていき、会話をするペアを変えていく。

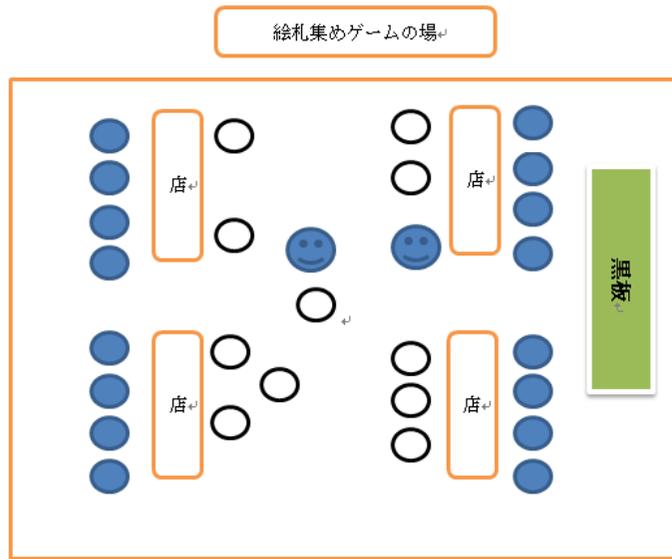
時間	学習活動	教師のかかわり		支援・指導上の留意点・【評価規準】	資料	
		H R T	A L T			
1'	1 あいさつをする。 ・ Hello Mr. (Ms.) ○○. ・ I'm fine thank you, and you?	・ Let's start our English lesson. ・ Let's say "Hello".	○Hello everyone. ○How are you today? ○I'm fine / great / OK.	・元氣よくあいさつを交わし、活動への意欲を高めるとともに、英語に関心を持たせる。		
4'	2 "The Apple Song"の歌を楽しく歌う。	・ Let's sing "The Apple Song"	○Are you ready? ○Good job!	・楽しく歌い、和やかな雰囲気を作る。	CD	
1'	3 本時のめあてを知る。 春日部市を紹介する絵本をつくるために『「注文」のスキット+α (プラスアルファ)』で会話しよう。 【+αの会話】 ・ (聞き取れなかった時にカルタ屋さんが一言) One more, please. / Excuse me? / Pardon? ・ (別れ際に、カルタ屋さんが一言) Enjoy your shopping! ・ (Thank you.の応用) Thank you very much. / Thank you so much. ・ (Thank you. と言われてカルタ屋さんが一言) You're welcome. ・ («素敵な商品だ」とお客さんが伝えたいとき) Nice card!			・全員で声を出して、本時のめあてと流れを確認させる。 ・+αの会話がどのようなものか、児童に伝える。	+αの揭示	
10'	4 "Story Time"をする。	・ Listen carefully. ・ Look at this.	○Are you ready?	【HRT】 ・主人公が、パリの名所を観光する絵本を読む。	【ALT】 ・ストーリーの内容に合わせて、相づちを打ったり、重要語句を繰り返したりして児童が内容の理解を深められるようにする。	絵本
5'	5 スキットの言い方を練習する。 orange / light blue / red / pink / yellow / light green / black / purple / small / medium / large Can I have ~? / Just a moment, please. / Here you are. / It's sold out. / +αの会話	・ Let's practice. ・ Repeat after Mr. (Ms.) ○○.	○Repeat after me. ○Good job!	・ALTの正確な発音を注意深く聞き練習できるようにはっきりとくり返すようにする。 ・苦手な児童の支援を行う。	・発音、会話表現を正確に言えるように発音する。 ・日本語と英語の発音の違いやアクセントの違い等を強調する。	カード
18'	7 「絵札集めゲーム」をする。 1 カルタ屋さん (●) とお客さん (○) の2グループに分かれる。 2 スキットで会話をしながら、お客さん (○) は、カルタ屋さん (●) に絵札とその台紙を注文する。 3 1枚手に入れたら、先ほどとは違うカルタ屋さん (●) と会話して、別の必要な絵札や台紙を注文する。 4 時間になるまでに、必要な絵札と台紙を注文する。 5 必要な絵札と台紙の注文が終わった児童は、各ページに ○○ goes to ~. を記入する。 6 時間になったら、カルタ屋さん (●) とお客さん (○) を交代し、2~5の活動を行う。	・ Let's play "Efuda Atsume Game". ・ Let's watch the demonstration. ・ Do you understand? ・ Let's start.	○Do you understand? ○Are you ready?	・児童を半分に分け、お店役とお客役を決める。 ・どうやって会話すれば良いか困っている児童の支援を行う。 ・バランスよくお店に児童が回れるようにする。 ・+αで会話している児童を見つけ、紹介する。 ・児童が○○goes to ~. を記入する際は、国語の時間に学習したワークシートを見て書くようにさせる。	・一緒に参加し、戸惑っている児童や困っている児童に声かけし支援を行う。 ・相手を意識してしっかりと会話できた児童を称賛し、さらに意欲が高まるようにする。 ・児童が○○goes to ~. を記入する際は、うまく書けない児童の補助を行う。	絵札カード S・M・L サイズ 色画用紙カード S・M・L サイズ 机
				【話・や】 リズムやイントネーションをまね、簡単な注文の言い方を使って自分の思いを伝え合うことができている。 (観察・パスポート)		

		【スキット①】 ●: Hi. ○: Hi, can I have a blue card? ●: Blue? ○: Yes. ●: Sure, what size would you like? ○: Medium, please. ●: OK, just a moment, please. (商品を探す) ●: Here you are. ○: Thank you. ●: Have a nice day. ○: You, too.	【スキット②】 ●: Hi. ○: Hi, can I have a “ki” card? ●: “Ki”? ○: Yes. ●: Sure, what size would you like? ○: Small, please. ●: OK, just a moment, please. (商品を探す、売り切れ。) ●: Oh, I’m sorry. It’s sold out. ○: Oh, I see. Thank you. ●: Have a nice day. ○: You, too.			
5'	9 評価をする。	・ Please check your E-time passport. ”.	○Everyone did a good job today!	・めあてが達成できたかを自己評価させる。 ・本時のめあてに対してのふり返りを発表させる。	・全体を通してのめあてに対して称賛する。	パスポート
1'	10 終わりのあいさつをする。	・ That’s all for today. ・ Please say, “Thank you very much”. ・ See you!	○You are welcome. ○See you.	・移動と握手やハイタッチなどを交わし、楽しい雰囲気の中で活動を終える。		

<期待する振り返り>

- ・ + α の会話を入れながら、会話ができました。
- ・ 注文のスキットを正しく使って、必要なカードを集められました。

・ 場の設定



○ = お客さんの児童
 ● = カルタ屋さんの児童
 😊 = HRT,ALT